

平成 23 年度 事故対策委員会の活動、及び事故発生状況について

【事故対策委員会の実施内容】

○事故対策委員会の実行内容

転倒のリスク（歩行の状況や疾病、服薬内容等）を確認し、その方に合わせた転倒予防の介護サービスを提供した。
また、事故が発生した場合は再発防止のカンファレンスを実施した。

○事故対策委員会の評価と次年度に引き継ぐこと

前年に比べ事故件数は減少したが、再発防止策は一時的な再発防止策が中心で、歩行能力の低下などの原因を解決するためのトレーニングや、障害に応じた足の運びの習得につながるような原因を解決するプランにはなっていない。
MDS 方式の取り組みを通じて客観的にお客様の状態を診断し、事故の原因にアプローチしてお客様の生活を向上させることが今後の課題となる。

平成 23 年度事故発生状況（転倒、外傷、与薬等を抜粋して記載）

		喜連	長吉	長吉西	ケアセンター	永寿特養	全体
転倒	22 年度	29	27	2	42	106	206
	23 年度	21	28	1	28	79	157
	対前年比	72%	104%	50%	67%	75%	76%
外傷	22 年度	31	34	1	38	222	326
	23 年度	32	30	0	30	175	267
	対前年比	103%	88%	0%	79%	79%	82%
与薬等	22 年度	7	3	0	2	23	35
	23 年度	5	1	0	1	38	45
	対前年比	71%	33%	0%	50%	165%	129%

*件数は1年間の発生延べ件数